

熊本県立荒尾支援学校進路便り No. 68

わーく&らifu

令和3年度 第7号 3月9日 発行

■CONTENTS■

- ◆「贈る言葉」 高等部一般学級卒業式 校長式辞より
- ◆令和3年度卒業生の進路

◆高等部一般学級卒業式 校長式辞より ～「誠実」「努力」「感謝」を大切に～



御卒業おめでとうございます。皆さん一人一人の、輝かしい旅立ちを心から祝福いたします。

私は、卒業生の皆さんとは、わずか一年間のおつき合でしたが、新型コロナウイルスの影響で様々な制限のある中、体育大会や作業製品の

販売会、修学旅行、リレーマラソン大会などで、皆さんが精一杯取り組む姿、そして仲良く楽しそうな笑顔が強く印象に残っています。

また、現場実習での様子も何人か見せてもらいましたが、これまで学校で学んできたことの成果を、十分発揮して頑張ってくれていました。とても頼もしく、見ていてとても誇りに思いました。事業所の方にお褒めの言葉をいただいたりすると、それは鼻高々として見守ることができました。

まもなく社会に巣立つ皆さんに、三つの大切にしてほしいことをお話ししたいと思います。

まず一つ目は、「誠実であってほしい」ということです。

「誠実な姿」とは、周りの人一人一人を心から大切に思うこと、嘘をついたりごまかしたりせずいつも正直にいて、まじめに丁寧に自分のできることに精一杯取り組むこと、などでしょう。これらは皆さん一人一人の中に「良さ」として既に持っているものもあります。これから出会う人たちや物事に対しても、ぜひ、誠実であり続けてほしいと思います。そのような生き方自体が、真に豊かな人生であると思うのです。

二つ目は、「努力を続ける人であってほしい」ということです。

これまでの学校生活の中で、精いっぱい努力をしてさまざまな経験を積んだことで、皆さんは多くの力を身に付けてきました。その力や経験は、これからのいろいろな場面できっと皆さんを助けてくれることでしょう。そして皆さんがこれから向き合う社会では、楽しいことにも多く出会うでしょうが、時にはつらいこともあるかも知れません。本当につらい時には、逃げ出すことも大切です。だけどまた頑張ろうと思えた時、そしてもうひと頑張りの努力ができた時、皆さんはまた一つたくましく、強くなっていることでしょう。これからも努力を続け、自分の人生を切り拓いていってほしいと願っています。

三つ目は、「感謝の心を忘れないでいてほしい」ということです。

人から親切にされたり、助けてもらったときには、素直に「ありがとうございます」と言える人であってください。簡単なことのように、なかなか簡単ではないことです。ありがたいと言える人は、ありがたいと言われる人でもあると思います。

皆さんの周りには、皆さんのことを大切に思う、温かい心を持った人たちがたくさんいます。皆さんが誠実に生き、努力する姿勢、そして、感謝の心を持っている限り、きっと周りの人たちが助け、支えてくれるはずです。この3つを忘れずに、これから進む社会、出会う人たちの中で、自分の可能性や自分らしさを存分に発揮してほしいと願っています。

皆さんは縁あって、この学校に入学し、たくさんの仲間と出会い、心許せる友人、先輩・後輩と共に学校生活を送ってきました。ここで出会った仲間や友人たち、そして学校生活の思い出は、皆さんたちの一生の宝物です。卒業してからも、仲間や友人たちをぜひ大切にしてほしいと思っています。そして、時々学校に元気な姿を見せて、先生方を安心させるとともに、後輩たちを励ましてやってください。私たちはこれからもずっと、皆さんを応援しています。（中略）

卒業は、新しい人生のスタートです。卒業生の皆さんが、まばゆい希望を胸に、それぞれの進路に向かって、確かな一歩を踏み出し、自分らしさを発揮して輝き続けることを心から願って、式辞といたします。御卒業、誠におめでとうございます。

校長 松本英雄

◆令和3年度卒業生の進路 ※○数字は人数

一般就職	3	新生翠病院②、クリーン発酵九州①
就労継続支援A型	11	ワビース①、NEXT①、アトル③、なごみトライズ①、ちひろ①、レゾナ夢ファーム天水①、あいりす荒尾②、マイルファクトリー①
就労継続支援B型	5	SUN☆フワ②、風工房R①、第二天水学園①、WAKABA①
就労移行支援	1	たんぽぽ①
生活介護 ※入所支援を含む	6	うすま苑②、精粹園①、じょうなんみなみ①（熊本市）きずなの里①（上天草市）、たまきな荘①
職業能力開発校	1	高等技術専門校①（熊本市）

今年も無事全員の進路が決定し卒業の日を迎えることができました。一般就労・福祉就労（A型・B型）・就労移行支援・職業能力開発校等、「就労系」の進路に進まれた方が多かったのが大きな特徴と言えます。さて、早い人は卒業式の翌週から進路先での生活がはじまっています。安定して「はたらき」、日々を「くらし」ていけるよう、私たち学校も引き続き、すべての進路先や相談員の皆さんと連携し支援を続けて参ります！

□■編集後記□■ この時期になると、私が新米の頃先輩教師から聞いた「（特別支援学校は）卒業式はあっても、卒業のない学校」という言葉を思い出します。今でこそ様々な相談機関がありますが、当時は卒業すると頼る相手のない不安感が強かったと聞きます。だからこそ、学校はいつも皆さんと「ともにある。」そんなサインを送り続けていきたいと思っています。（文責：谷口）

